



「動き回る小型劇場の夢
~モバイル・シアター・
プロジェクトについて」

2017
11.23 (木・祝) 13:30-15:00

やなぎみわ

神戸市出身。1990年代後半より写真作品を発表。国内外での個展多数。09年、ヴェネツィア・ビエンナーレ日本館代表。11年から本格的に演劇活動を始め、美術館や劇場で公演した後、15年『ゼロ・アワー東京ローズ最後のテープ』でアメリカ・カナダツアー（初演は2013年KAAT神奈川芸術劇場）。16年夏には、台湾製の移動舞台車による野外演劇『日輪の翼』の旅公演がスタート。今年9月に、東十条の阪神高速出口にて、京都公演が行われた。



撮影：熊野新聞

東 善之

1981年佐賀県生まれ。京都工芸繊維大学助教、同大学 ROBOCON 挑戦プロジェクト代表教員。専門はロボティクス・メカトロニクス。ドローンをはじめとする飛行ロボットを中心に、移動ロボット、インフラメンテナンス技術などの研究の傍ら、学生ロボコンチームの指導を行っている。



上：2017NHK出場機体



高松市美術館は平成30(2018)年に開館30周年を迎えます。これを記念し、同年に開催を予定している特別展「やなぎみわ展(仮)」のイベントとして、やなぎみわ氏(美術家・演出家)が本展に向けて、新たに構想している「モバイル・シアター・マシン」について、製作側の東善之氏(京都工芸繊維大学大学院機械工学系助教)とのトークイベントを実施します。

舞台表現でもあり、美術作品でもあり、ロボットでもある“新しい美の世界”を、「芸術」と「機械工学」の両面から、楽しく語り明かしていただきます。

申込/先着 80 名 (当日会場に直接お越しください)

入場料/無料

会場/高松市美術館 1 階講堂

お問合せ/高松市美術館 電話/ 087-823-1711